

佐賀県保育幼児教育 センターだより

第6号 令和7年12月24日

佐賀県保育幼児教育センター（佐賀県こども未来課）TEL:0952-25-7616 Fax:0952-25-7339 hy-c@pref.saga.lg.jp

こどもひとりひとりの「かけ橋期」を充実したものに！

「かけ橋期のコーディネーター」がともに考え、支援します



さがっぴい
佐賀県子育て
応援キャラクター

「かけ橋期のコーディネーター」は、各地域の幼保小接続・連携の取り組みがより推進されるよう、園・小学校・市町等からの依頼に応じて訪問し、幼保小連絡協議会や合同研修会、交流会などで一緒に考え、支援します。ぜひ「かけ橋期のコーディネーター」をお気軽にご活用ください。

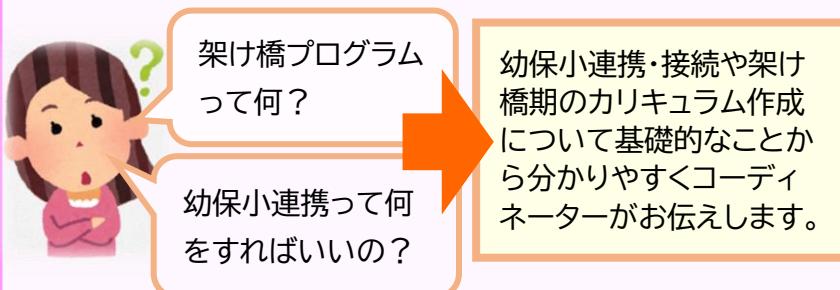
※「かけ橋期」とは、義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間のことです。

かけ橋期のコーディネーターってどんな人？

かけ橋期のコーディネーターは、保育及び教育に関する知見や豊富な経験をもち、園長、校長などマネジメントの経験がある先生方です。

かけ橋期のコーディネーターの活用例は？

【例1】「かけ橋プログラム」についての基礎的な研修の講師



【研修会テーマの参考例】
・「かけ橋プログラム」の基礎(概要)
・幼保小連携・接続の具体的な進め方
・なぜ円滑な連携が大切なのか

【例2】相互参観(保育参観・小学校1年生の教育活動参観)とアドバイス

- 保育参観、授業参観に訪問させていただき、かけ橋期の保育・教育や交流・連携について一緒に考えたりアドバイスしたりします。

◆ 園児と児童の交流会「もうすぐ1年生」

小学校児童が校区内の園のこどもたちを招待し、一緒に遊んだり、手作りおもちゃで楽しんだりしました。かけ橋期のコーディネーターは、その後の振り返りの話し合いにも参加し、成果等や今後の取り組みについて一緒に考えたり、取組のすばらしさを伝えたりしました。



【例3】協議会、合同研修会などのファシリテーター

- ・幼保小の先生方が共通の視点をもって「かけ橋期のカリキュラム」を作成できるように進行をします。市町の担当者が、説明や指導助言に専念できるように運営及び進行をします。



◆ 架け橋期のカリキュラム作成に向けた
幼保小連絡協議会

園、小学校の子どもたちや地域の実態を「かけ橋期のコーディネーター」の進行で協議しました。目指す子どもの姿を共有し、そのための行事の合同開催などが検討されました。

- ・連携・接続の課題や研修・研究のテーマなどについて、一緒に考えたりアドバイスしたりします。



◆ 保育の中で子どもたちのエピソードをもとにした園内研修

小学校の先生、他園の先生なども参加され、かけ橋期のコーディネーターも一緒に、子どもの育ちについて考え、話し合いを深めていきました。

かけ橋期のコーディネーター派遣までの流れは？

1. 相談、研修内容をお決めください

幼保小の交流・連携や日々の保育・教育の中で課題としていることや研修会、協議会の企画など、上記活用例を参考にしてください。

また、「どのような内容で研修会、協議会を企画すればよいか？」などでお悩みの場合でも気軽にご相談ください。



2. 「かけ橋期のコーディネーター派遣依頼書(様式1)」をご提出ください

訪問日時、場所、会場が決定したら依頼書をご提出ください。

その後、当日の具体的な研修内容や流れなどをセンター職員と打ち合われます。

もちろん派遣依頼書を提出する前でもご相談をお受けしています。



3. コーディネーター訪問後にアンケートにご協力ください

今後の事業の参考にするため、簡単なアンケートにご協力ください。

また、研修後に参会者の感想や研修実施概要などをまとめられた場合は、コピー等でご提供くださるとありがとうございます。



《まずはセンターへお電話などで気軽にご相談ください》

☎ 0952-25-7616 ☎ hy-c@pref.saga.lg.jp

様式等は こちらから ➔

